

## 第7回街づくり検討会を行いました。

令和元年5月9日（木）に第7回街づくり検討会を開催し、該当地区内に土地または建物の権利をお持ちの方14名（出席者20名）にご参加いただきました。

前回に引き続き、早稲田大学の卯月盛夫教授にご参加いただき、「現在の交通の課題と将来の交通計画を考える」と題して意見交換（ワークショップ）を行いました。



<第7回街づくり検討会の様子>

## 第6回検討会に引き続き、みなさんのご意見を踏まえて作成した、卯月教授の交通計画案をもとに、意見交換（ワークショップ）を行いました！

第7回検討会では、第6回検討会の議論で示された交通計画の各案に対する課題を踏まえ、その実現策について、意見交換（ワークショップ）を行いました。

### ～卯月教授の交通計画案の概要～

- ・ **A案**
  - ・ 補助127号線：相互通行
  - ・ バスルート：補助127号線（相互通行）
- ・ **B-1案**
  - ・ 補助127号線：一方通行
  - ・ バスルート：補助127号線→メイプル通り（現在のルートと同じ）
- ・ **B-2案**
  - ・ 補助127号線：一方通行
  - ・ バスルート：補助127号線→ヒロ通り

※交通計画案の詳細については、同封の第7回検討会資料をご覧ください。



## 検討会への入会をお待ちしています。

現在47名の方にご入会いただいております。

引き続きより多くの権利者の皆様にご賛同、ご参加いただき、権利者の皆様で自由が丘の顔にふさわしい西及び北地区の街づくり検討を進めたいと考えています。



## 意見交換(ワークショップ)にていただいた主なご意見(一部抜粋)

意見交換(ワークショップ)の中でいただいたご意見の一部を抜粋してご紹介します。別紙「いただいたご意見等の概要」を同封しておりますので、あわせてご覧ください。

### 道路・交通計画について

- まちの賑わいを創出するためには、できるだけ歩道が広い方が、歩行者にとっても沿道のお店にとっても良い。
- 安全性やスケジュールを考えるとA案が現実的だと思う。
- バスが駅前に乗り入れやすいようにし、客が来やすくする必要がある。
- 建物の老朽化が進んでいるため、これ以上道路整備を遅らせることは出来ないと思う。
- 現在の道路幅員では、容積率を消化することができない。最低限、容積率を消化できる程度まで道路を拡幅した方がよいと思う。
- 補助127号線の整備は戦後の都市計画決定後、70年以上進んでいない。合意形成が出来なければ、今回も道路整備は進まないと思う。
- 今、交通を整備しておけば、将来の自動運転化に対応した交通網を整備できると思う。



### 街づくりについて

- 安全や景観のために、無電柱化できればよいと思う。
- 商店街の老朽化が進んでいるため、建物の更新が必要である。しかし、大手企業に任せて大きい建物を建てるのではなく、個店を活かしたまちづくりが行えればよいと思う。
- 道路整備とあわせて、魅力的なテナントが入り、平面の魅力で客を呼べる街にしたい。
- 道路整備に向けて、権利者の生活再建を考えなければならない。



### 次回検討会について

■ 日時：6月14日(金) 14時00分～16時00分

■ 場所：緑が丘文化会館 本館2階 第3研修室

※前回と会場が異なりますのでご注意ください。

詳細については、『第8回街づくり検討会のご案内』をご確認ください。

皆様のご参加お待ちしております。

～自由が丘駅前西及び北地区街づくり検討会に関する問い合わせは下記にお願いいたします～



【問合せ先】自由が丘駅前西及び北地区街づくり検討会事務局

目黒区 街づくり推進部 地区整備課

担当：石井・大谷内 電話：03-5722-9430